

令和6年8月1日

青森県「農林水産力」強化本部

7月31日現在水稻出穂状況

地域	本年	平年	前年
東青	61	3	63
中南	78	5	82
西北	65	5	90
上北	90	4	57
下北	48	4	18
三八	87	4	60
県全体	74	5	77

注)各地域農林水産部調べ、小数点以下は四捨五入
平年値は過去10か年の平均

<概況>

7月31日現在の水稻出穂状況は、県全体で74%となった。

県全体の出穂始めは平年より4日早い7月27日、出穂最盛期は平年より5日早い7月30日であった。

<技術対策>

- ・出穂後10日間は、開花・受精のため5～6cm位の水深を保つ。
- ・開花終了後に高温となる場合は、水の入れ換えや掛け流し、飽水管理によって稲体の温度を下げ、根の活性を維持する。
※飽水管理・・・水尻を止水して自然減水し、溝や足跡に水が溜まっている状態になったら2～3cm程度かん水することを繰り返す管理
- ・斑点米カメムシ類の発生が多いと予想されるので、適期防除を徹底する。

参考〈出穂の進度〉 (月/日)

	本年	平年	前年
始め	7/27	7/31	7/27
最盛期	7/30	8/4	7/30
終わり		8/9	8/3

※始め：出穂した割合が5%に達した日

※最盛期：出穂した割合が50%に達した日

※終わり：出穂した割合が95%に達した日

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹
電話番号	直通 017-734-9480 内線 5073
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊 内線 4966